

～リハビリ通信～



左の写真は患者様が作成した絵手紙です。力強い絵に季節を感じ言葉が添えられた素晴らしい作品ができました。

右の写真は退院後の地域生活を目指し、料理などの練習を行うADL実習の時間に作ったサラダうどんです。「美味しい！！」と大好評でした。



～お知らせ～

「第2回家族会」

平成19年9月15日(土) 当院給食センター2階にて家族会を開催いたします。第1回目の改善点を踏まえ、ご家族様の為になるものにしていきたいと考えております。大勢のご家族様のお越しをお待ちしております。

「運動会」

平成19年10月20日(土) 当院グラウンドにて秋の恒例行事、運動会を開催いたします。今年も数々の競技を行う予定です。ご家族様・来賓の方参加型のプログラムも用意しておりますので是非皆様のお越しをお待ちしております。後日お葉書でご案内させていただきます。

「ボランティアさん募集！！」

当院では入浴後のドライヤーかけや手芸などのボランティアを募集しています。お時間のとれる方は是非ご連絡ください。

担当 地域医療連携課 福田
TEL:0493-56-3191

う

き

う

き

編集後記

毎日暑いですね！このあいだ病院内でアイスクリームをおいしそうに食べている患者さまを見かけました。その日はとても暑い日で、食べるのと溶けるのどっちが早い競争状態になっていて「夏っぽいな～」と感じました。でも、この季節冷たいものの摂りすぎには注意しないとですね・・・

編集代表 持田 富美子



もりのたより



〒355-0807 埼玉県比企郡滑川町大字和泉 704

TEL:0493-56-3191/FAX:0493-56-4831

昭友会ホームページ：<http://www.kokoro.or.jp>

『看護部の取り組み』

当院は比企丘陵の緑豊かな木々に囲まれた閑静な環境にあります。今年の6月で、昭和52年の開院から30年という節目の年を迎えることができました。

平成15年11月には新病棟も完成し、翌年には建物の老朽化の進んだ既存棟の大規模な改修工事を行いました。新病棟は個室も完備されたゆとりのある療養環境が完成し、既存の病棟も大幅に改善されました。病棟は4病棟から5病棟へ、病床数も258床から296床へ増え、入院患者さまの疾患や病状に合わせた適切な医療や看護サービスができるように病棟の再編成も行われました。

看護部では「患者さまの立場になり、信頼され満足していただける心のこもった看護を提供します」という理念のもと、病棟ごとに目標を立て、さらに看護者一人ひとりの自己目標へとつなげています。また、この目標達成のために、医師をはじめ、作業療法士、精神保健福祉士、薬剤師、臨床心理士等の他職種と協力し、お互いに連携をとりながらチーム医療と看護の実践に日々取り組んでいます。この実践を評価するのはあくまでも患者さまやご家族さまです。ともすれば医療スタッフのひとりよがりの自己満足となりかねません。患者さまやご家族さまの立場になって、本当にこれで良かったのかということ、そうしたかわりの場面を振り返りながら絶えず考察していく必要があります。

今後は、精神科に勤務する専門職として、患者さま一人ひとりのニーズに応じた質の良い看護サービスが提供できるように努力していき、安全で安心できる環境をめざし、一日も早い社会復帰の働きかけと、また、地域に貢献できる病院にしていきたいと思っております。



医療法人昭友会 埼玉森林病院 看護部長 浅見 英男



『熱中症とは』

埼玉森林病院 副院長 木村道夫

暑い時期となりましたが、今回は熱中症を取り上げました。身体の中と外のあつさ(暑熱)により体内の水分や塩分のバランスが崩れ、また体温の調節機構が破綻するなどの原因で起こります。死に至る可能性のある病態ですが予防することが可能で、症状に合った正しい応急処置で救命することができます。

どのようにして起こるのか

<環境>: 気温が高い、湿度が高い、風が弱い、日差しが強い

<からだ>: 激しい労働や運動で体内に熱が生産され体温の調節が出来ない

どのような人になりやすいか

高齢者、肥満の人、普段から運動をしていない人、暑さに慣れていない人、病気の人

分類 熱けいれん、熱疲労、熱射病の順に重症になります。

<熱けいれん>: 高温下での運動中に突然発症する体の部分的な筋肉のけいれんで、下腿、大腿、おなかの筋肉に起こりやすく、大量の発汗に対して水分のみを補給すると発症します。(塩分の不足)

<熱疲労>: 脱水と塩分不足、もしくは水分が主に不足し血液の中の塩分が濃くなった脱水症です。持病のある高齢者などにおこることが多く、疲労感と強い頭痛、吐き気、めまいなどの中枢神経症状がでます。体温調節機能が残されているため発汗は持続し、体温もそれほど上昇しないことがあります。

<熱射病>: 40度以上に体温が上昇し汗が出なくなり、意識障害(もうろう状態、見当識障害、昏睡)、血圧低下、不整脈、呼吸困難となり死亡率の最も高い熱中症です。高温で多湿な環境下で過激な作業、運動後に発症し、若い男性に多く見られます。運動、作業等をしない場合でも高齢者、持病のある人、幼少児に数時間から数日後に発症することがあります。

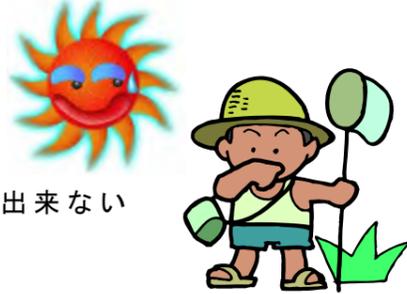
応急処置

<熱けいれん・熱疲労>: 人を涼しい場所に運び衣服をゆるめ、水分と塩分を補給すると回復します。

<熱射病>: 意識障害がなくとも、褐色尿、尿が出なくなった時、腹痛を感じた時、また汗が止まった時は至急救急車を呼び、到着までに応急処置として、濡れタオルを体に当てる、水をかけ、風を当てる(扇風機、うちわ等)などのその場で可能な方法で体温を下げましょう。

予防

運動をする時は水分と塩分の含まれるスポーツドリンク等を頻回にとり脱水症を予防します。過労、下痢や発熱は誘因となりやすいので高温多湿の環境下での運動等を避けましょう。



ハートフル祭2007

平成19年7月25日(水)、夏祭りが開催されました。当日は、患者様、ボランティアの方々、職員が参加し一体となり楽しい1日となりました。

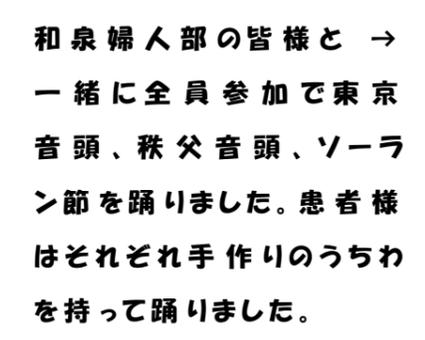


←太鼓の音と掛け声で夏祭りのはじまり、はじまり~!!



↑地元の和泉婦人部の皆様。滑川音頭、ほたん音頭を踊っていただきました。

↓みなさん景品を目指して、さいころゲームや輪投げで大盛り上がりでした。



和泉婦人部の皆様と一緒に全員参加で東京音頭、秩父音頭、ソーラン節を踊りました。患者様はそれぞれ手作りのうちわを持って踊りました。



←ときがわ町夢ちんどんの皆様。にぎやかな音楽でみんなを楽しませてくれました。



←う~ん。艶っぽい。浴衣を着ていかにも夏祭りという感じがします。おかしつつかみ取りをされています。



焼きそばとかき氷おいしそうです。暑かったので冷たいものは大人気でした。

